

# あくね



## 海の子カーニバル 全員完泳！

7月20日海の日に「第31回海の子カーニバル」が開催されました。当日は天候不良のため、阿久根大島からの遠泳はできませんでしたが、1か月練習を続けてきた28名の児童生徒が五色ヶ浜を約1時間元気に泳ぎきりました。

**NO.185**

平成27年8月14日  
編集 / 広報広聴委員会  
発行 / 阿久根市議会  
TEL 0996-72-0815  
FAX 0996-72-2029

○一般会計予算に**8,039万円**を追加し、  
**総額113億39万円**に。

○阿久根駅の管理運営を阿久根市美しい海の  
 まちづくり公社への指定を賛成多数で可決。

平成27年第2回阿久根市議会定例会が平成27年6月15日から30日の日程で開かれました。

開会日には、繰越明許費の報告1件、平成27年度一般会計補正予算、介護保険特別会計補正予算2件、にぎわい交流館阿久根駅の指定管理に関する議案、条例を含む、陳情など11件が上程されました。

陳情は3件提出され、「薩摩川内に市に国を中心とする総合研究所設立」に関する陳情書については不採択、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元」に関する陳情及び、「原子力災害際作避難計画の遅滞ない見直しと、市内全区に避難訓練を繰り返し行うことを求める陳情」については趣旨採択と決しました。

補正予算関係では、特に、脇本地区公民館の太陽光発電・蓄電池・LED設置事業費4672万8千円に対し、多額の助成金が交付されるものの事業効果に疑問があるなどとして質問や反対の意見がありました。

また、番所丘公園に複合型遊具施設を1千4百万円で設置する工事費も計上され、一般会計補正予算は、賛成多数で可決されました。

介護保険特別会計では、国・県からの負担もあり、所得の低い方の介護保険料を減額する補正予算が、介護保険条例の一部改正とともに全議

員賛成で可決されました。

にぎわい交流館阿久根駅の管理運営を公益財団法人阿久根市美しい海のまちづくり公社に指定する議案は、これまでの指定管理者であった肥薩おれんじ鉄道株との契約が3月に解除されたため、まちづくり公社を指定する議案が賛成多数で可決されたものです。

また、阿久根駅の使用許可や使用料を定めた条例の一部改正も提案され、賛成多数で可決されました。



今回の補正で宝くじ助成金を利用して番所丘公園に設置される複合型遊具（予定図）

**特別委員会等を設置**

本市の活性化を図り人口減少に歯止めをかけるため、議会においても調査・検討を行う必要があるとの積極的な意見により下記の二つの特別委員会を設置しました。

また、地域の重要な交通機関であ

る肥薩おれんじ鉄道の活性化に向けた活動を行うため、阿久根市議会肥薩おれんじ鉄道活性化議員連盟を引き続き設置しました。県や出水市・薩摩川内市の議員連盟と連携して活動することになります。

**【特別委員会】**

旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会

- 委員長…山田 勝 議員
- 副委員長…濱崎 國治 議員
- 委員…白石 純一 議員
- 渡辺 久治 議員
- 西田 数市 議員
- 飯屋園一徳 議員
- 竹原 恵美 議員
- 牟田 学 議員

**地方創生に関する調査特別委員会**

平成26年12月27日「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定され、今後地方版総合戦略の策定の段階や効果検証をしていく中で、議会と執行部が共に推進していくことが重要として議長を除く15名で構成する特別委員会を設置しました。

- 委員長…岩崎 健二 議員
- 副委員長…白石 純一 議員
- 委員…議長を除く議員

**【人事案件】**

阿久根地区消防組合議会議員の選出  
 新留 秀雄 氏（同意）

# 委員会報告

## ○総務文教委員会

議案第47号、平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第1号）

**問** コミュニティ事業を活用した川畑自衛消防団への小型動力ポンプの配備についての金額は、競争見積もりによって決めるのか。

**答** 申請の現段階では、実施主体が見積もりを取り、入札の段階では、代理業務で財政課を介し、競争入札となる。  
所管課 総務課



導入される予定のものと同程度の小型動力ポンプ

**問** 防災拠点施設再生可能エネルギー等導入推進事業助成金で行う協本公民館の太陽光パネル設置事業は公民館の施設だけでは電力は余るのでは。

**答** 協本地区公民館においては支所機能として、常時職員が常駐しているため、平日は余剰電力が大きく発生することは想定していない。  
所管課 生涯学習課

陳情第6号 鹿児島県議会陳情第3045号（4回目）・自由民主党政権公約（202）、薩摩川内市に国を中心とする総合研究所設立に向けての実現と、阿久根市への波及効果を最大限に広げ地元へ根付かせる為の陳情書  
審査の結果、全委員一致で不採択と決定しました。

陳情第7号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情について  
審査の結果、賛成多数で趣旨採択と決定しました。

陳情第8号 原子力災害対策避難計画の遅滞ない見直しと、市内全区に避難訓練を繰り返し行うことを求める陳情書  
審査の結果、賛成多数で趣旨採択と決定しました。

所管事務調査事項として、「市民交流センター事業について」、教育行政の中で「学校編成について」、「不登校問題について」、「阿久根市地域防災計画について」以上4項目を調査事項としました。

## ○産業厚生委員会

にぎわい交流館阿久根駅の指定管理者の指定及びにぎわい交流館阿久根駅条例の一部を改正する条例の制定について

駅の指定管理者として、阿久根市美しい海のまちづくり公社を平成31年3月まで指定し同条例の一部を改正するもの。

**問** 駅には、いろいろな規制があったり自由に使えないとのことだが、まちづくり公社は、市民の要望に応えられる運営ができるのか。

**答** 指定管理者に自由な裁量を任せて収益をあげてもらうことが目的であり、市も関わりながら、一生懸命やってもらえると思っている。

委員から「責任者を置き、しっかりとした運営をしてほしい」との要望があった。



にぎわい交流館阿久根駅

簡易水道事業の設置及び管理に関する条例の一部改正

田代・鶴川内・尾崎・牛之浜簡易水道事業を統合し、中部地区簡易水道事業として4地区全域に、木佐木野、尾原、弓木野、落地区の4地区共同水道を加えた区域に統合するもの。

**問** 残された4地区の共同水道を市が管理するのはいつ頃になるのか。  
**答** 市で管理人を置いて管理していくことになるが、市が管理する為の施設整備が必要であり、地区と協議しながら進めていく。

委員から、松ヶ根・大淵川地区も同じような扱いで進めてほしいとの意見があった。

### その他の審議事項

- ・介護保険条例の一部改正
- ・補正予算（鳥獣被害防止対策費、食物流通センター液体凍結機費、番所丘公園複合型遊具施設設置費）等

所管事務調査事項として「地元企業の育成と商店街の活性化について」、「海を活用した観光行政と宿泊設備の整備について」、「道路・河川等の危険個所の整備について」、「集落営農を活用した農業振興について」以上の4項目を調査事項としました。

## 討論・陳情

各議案に対する討論のあった議案・陳情の主な内容は以下の通りです。

**議案第42号** にぎわい交流館阿久根駅の指定管理者の指定について

**議案第43号** にぎわい交流館阿久根駅条例の一部を改正する条例の制定について

**反対** 竹原 恵美 議員

これから作成されるまちづくり公社の阿久根駅運営計画は、状況の良くなかったおれんじ鉄道を参考にして作成され、大差ないものとなる。早期に民間運営に切り替え、リスクとリタインの責任を持った運営にし、決して市民の税金を追加投入しないことを求める。

**結果** 賛成多数で可決

**議案第47号** 平成27年度阿久根市一般会計補正予算(第1号)

**反対** 竹原 恵美 議員

県の補助金を活用し、避難所に指定している脇本地区公民館へ災害時の備えとして太陽光発電と蓄電池を設置するものだが、ランニングコストの調査がされていない。蓄電池は一晚分しかなく、4700万円の設置で2500万円の節電しかないなど見合わない施設である。避難所を守

る機能としても、発電機の方が安価で、信頼性はるかに高く反対する。

**結果** 賛成多数で可決

**議案第49号** 川内原子力発電所1・2号機の再稼働及び国の原子力発電政策に関し阿久根市民の民意を問う住民投票条例の制定について

**議案内容**

議員提案により提出された議案で川内原発の再稼働、国の原発政策に関し住民投票を求める条例

**反対** 飯屋園 一徳 議員

川内原発1号機が8月下旬、2号機が9月以降再稼働されることが予定され、原発の再稼働は国策として行われるもので、その国策に対し、賛成か反対かの意思表示を行う条例制定で反対である。将来、原発に頼らないエネルギー政策を望むが、電気料金が高騰する現段階では、再稼働やむなしとの考えで、国へは今後最高の監視体制を強く求めるが、現段階で行う時期ではなく反対する。

**賛成** 竹原 恵美 議員

阿久根市民が自分たちの住む市の将来を考え判断する、表明をすることは阿久根市民の要望である。原発の再稼働に対し、薩摩川内市の首長が再稼働の意思を表すことは、県・自治体・九電との協定書の上でのことであり、阿久根市民の意思を川内の首長に、または、西平阿久根市長

に一任していかないものである。この議案に賛成する。

**結果** 賛成少数で否決

**陳情第6号** 鹿児島県議会陳情第3045号(4回目)・自由民主党政権公約(2020)、薩摩川内市に国を中心とする総合研究所設立に向けての実現と、阿久根市への波及効果を最大限に広げ地元へ根付かせる為の陳情書

**陳情内容**

自由民主党公約にある新エネルギーと農林水産業など理想の総合研究所を薩摩川内市に設置するよう県議会に提出した陳情書を可決するよう働きかけを求める陳情。

**結果** 全会一致で不採択

**陳情第7号** 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

**陳情内容**

教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元し、また国の学級編成基準を改めて複式学級の解消に向けて適切な措置を講ずることを求める陳情。

**趣旨採択に賛成**

現在、教育改革の過渡期にあり、

中学・高校の教員が小学校で指導することができるようになり、インターネットを使った指導や小中一貫教育学校が進められる方向である。

日本はOECD諸国の中で、教育に対する公的支出が最下位であるという事実から、教育に対する改正は必要であると考えられるが、この陳情は趣旨採択が適当である。

**結果** 全会一致で趣旨採択

**陳情第8号** 原子力災害対策避難計画の遅滞ない見直しと、市内全区に避難訓練を繰り返し行うことを求める陳情書

**陳情内容**

原子力災害時避難計画の遅滞ない見直しと市内全区に避難訓練を繰り返し行うことを求める陳情。

**採択に賛成**

竹原 恵美 議員

避難計画は、各地域・区の単位で避難訓練を繰り返し行い、計画通りに進まない箇所はないか見直しを行いながら進めていかなければ実効性は上がらない。パンフレットの配布だけでは市民は動けない。

いつ来るかわからない災害に確実に実行できなければ意味がなく、避難訓練を全区で進めることを求め、この陳情の採択に賛成し、趣旨採択ではなく、採択することを求める。

**結果** 賛成多数で趣旨採択

## 平成27年第2回定例会 議案及び審議結果

番 号	内 容	結 果
議案第42号	にぎわい交流館阿久根駅の指定管理者の指定について	可 決(賛成多数)
議案第43号	にぎわい交流館阿久根駅条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(賛成多数)
議案第44号	阿久根市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全 員)
議案第45号	阿久根市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全 員)
議案第46号	阿久根市簡易水道事業の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全 員)
議案第47号	平成27年度阿久根市一般会計補正予算(第1号)	可 決(賛成多数)
議案第48号	平成27年度阿久根市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可 決(全 員)
議案第49号	川内原子力発電所1・2号機の再稼働及び国の原子力発電政策に関し阿久根市民の民意を問う住民投票条例の制定について	否 決(賛成少数)
議案第50号	阿久根市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可 決(全 員)
陳情第6号	鹿児島県議会陳情第3045号(4回目)・自由民主党政権公約(202)、薩摩川内市に国を中心とする総合研究所設立に向けての実現と、阿久根市への波及効果を最大限に広げ地元へ根付かせる為の陳情書	不採択(全 員)
陳情第7号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	趣旨採択(全 員)
陳情第8号	原子力災害対策避難計画の遅滞ない見直しと、市内全区に避難訓練を繰り返し行うことを求める陳情書	趣旨採択(賛成多数)

## 平成27年第2回定例会 議決結果 (賛否が分かれた案件のみ)

議 案 名	議員名(議席番号順)														議決結果	討 論		
	白石純一	渡辺久治	濱田洋一	西田数市	竹原信一	仮屋園一徳	竹原恵美	野畑直	中面幸人	大田重男	濱崎國治	牟田学	濱之上大成	山田勝			岩崎健二	木下孝行
にぎわい交流館阿久根駅の指定管理者の指定について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	可決	反対：1 賛成：-
にぎわい交流館阿久根駅条例の一部を改正する条例の制定について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	可決	反対：1 賛成：-
平成27年度阿久根市一般会計補正予算(第1号)	◇	◆	◇	◆	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	可決	反対：1 賛成：-
川内原子力発電所1・2号機の再稼働及び国の原子力発電政策に関し阿久根市民の民意を問う住民投票条例の制定について	◆	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◇	否決	反対：1 賛成：1
原子力災害対策避難計画の遅滞ない見直しと、市内全区に避難訓練を繰り返し行うことを求める陳情書(趣旨採択について表決を行った)	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	趣旨採択	反対：- 賛成：1 (採択に賛成)

※木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。(表の見方)◇は賛成、◆は反対

より良い市政を目指して

# 一般質問

— 市政を問う —

平成27年第1回定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。

【質問者】 (質問順)

- ① 仮屋園一徳 議員
- ② 白石 純一 議員
- ③ 渡辺 久治 議員
- ④ 竹原 信一 議員
- ⑤ 山田 勝 議員
- ⑥ 中面 幸人 議員
- ⑦ 竹原 恵美 議員

掲載内容については、それぞれの議員が行いました一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者が責任をもってまとめたものです。

なお、本会議の会議録については、市立図書館、支所・出張所および市ホームページで閲覧することができます。

詳細な内容については会議録をご確認ください。

## 問 旧国民宿舎の活用方針について

答 民間事業者による事業運営をと考える

**仮屋園** 施設活用検討会議の報告はどのようなものであったか。

**市長** 観光宿泊施設としての機能を計画的に確保していくことが必要。そのためには、新たな施設整備が望ましい。施設の建設には民間事業者の活用を原則とし、民間事業者の活用の際には、適切に条件を設定することが必要である。

**仮屋園** 報告を受けてどのような方針を立てるのか。

**市長** 平成27年度中に事業者を公募し、遅くとも平成35年度までに、施設を建て替え、運営することを義務付けるなどを条件として建物を無償譲渡する。

小規模農家の生産意欲を促すためマルチ処分費に補助はできないか。

**仮屋園** 高齢化、後継者不足などによる離農を最小限に食い止めるため、ビニールやマルチなどの処分費に補助金制度を新設する考えはないか。

**市長** 使用済のマルチやビニールについては、自己責任において適正に処理することが義務付けられている。出水地区の協議会で回収を行っており、市としては処分費への補助は考えていないが理解を求めていく。

### その他の質問

- ・ 民泊の受け入れ体制について
- ・ 漁業者の支援策について



現在の貸付契約が平成28年3月で満了するグランビューあくね



仮屋園 一徳 議員

## 問

### 旧国民宿舎、 旧阿久根高校跡地の今後について

**答** 旧宿舎の整備は事業者の創意・工夫で  
旧高校は検討委員会設置



白石 純一 議員

**白石** 観光産業の位置づけ、旧国民宿舎をどうみているか。

**市長** 観光はまち活性化のため積極的に推進すべき。旧国民宿舎の立地は市が誇るべき財産だが、施設は課題も抱えている。

**白石** 旧阿久根高校跡地を宿泊研修施設として活用する可能性はないか。

**市長** 可能性はあるが、今年度検討委員会を設置し宿泊研修施設を含め様々な観点から活用策を検討したい。

**白石** 旧国民宿舎を2020年国体で宿泊収容の核と考えているのとことだが、耐震診断での指標I S値は。

**市長** 旧国民宿舎のI S値は本館3階縦方向0.30、2階縦方向0.29等である。国の基準によると震度6〜7程度の地震でI S値0.3未満は倒壊・崩落の危険性が高いとなっている。

**白石** 十分な耐震補強がなされないまま選手・スタッフを迎え入れることは避けるべきでは。

**市長** 耐震補強が望ましいが、多額の経費を要する。民間の能力を活用したい。

**白石** 無償譲渡先公募では、市内でお金が回るよう地元資本重視、また観光政策として市による一部出資は検討しないか。これらこそ真の地方創生だ。

**市長** 譲渡先として市内資本は重要だが、能力も必要。事業者の創意・工夫を促し市の出資は考えていない。

**白石** 旧阿久根高校3棟はI S値で耐震基準を満たしており、宿泊施設への転用を先行すれば旧国民宿舎の国体までの耐震化・新設は不要、建替え中の宿泊施設不在も解決するが。

**市長** 議員の意見も旧高校跡地の一活用策として重要に受け止めたい。

### その他の質問

・市民交流センターは近隣自治体施設も利用させてもらいながら、地元産木材を使い、高機能ながら小規模・低予算化は図れないか。

## 問

### 南九州西回り自動車道の 全線開通時期とその後のビジョンは

**答** 全線開通まで概ね10年、今後、  
将来を見越した総合戦略を策定する

**渡辺** 全線開通を見据え、ビジョンを描き、計画を立て、今から実行が必要と考えるが、全線開通の時期をいつ頃と見込み、その後におけるこの地域のビジョンは。

**市長** 全線開通は不確実な要素もあるが、概ね10年後と見込んでいます。今後、情報の集約と整理を行い、都市計画マスタープランの見直し、将来を見越した総合戦略を策定する。

**自動車道開通を見据えて、次の3つの提案について、市長の所見は**

**渡辺** 高速道路の折多地区付近にこの地域の農水産・畜産品を扱う物産館を併設したハイウェイオアシス風のサービエリアの実現について。

**市長** 先月、刈谷市の大規模なハイウェイオアシスを視察した。周囲の人口状況の違いはあるが、必要性を感じ、早期に方向性を示し、計画的に考えていく必要がある。

**渡辺** 郷土の誇り、維新の英傑、寺島宗則をこの地域の歴史観光の目玉として全国にアピールする為に『寺島宗則記念館』の実現について。

**市長** 県でも、英国に渡った薩摩の先人達を扱ったNHK大河ドラマの誘致に動き出しているようだ。生家の持主の方の意向も踏まえて、検討が必要だが、例えば、カフェも備えた地元の気楽な集まりの場所として整備するのも一つの考えだ。

**渡辺** 全線開通後、阿久根から鹿児島市内まで約1時間、充分な通勤距離圏内となる。『夏は涼しく灰は降らない、風光明媚で魚もうまい』をキャッチフレーズに『阿久根ベッドタウン構想』の実現について。

**市長** 私も夏場の気温が阿久根は鹿児島市内より2〜3度低いと感じていた。無料区間となる高速道路を活かした定住促進の方向はあり得ると思う。私自身、この提案は大変勉強になった。



渡辺 久治 議員

## 問 投票箱は職員がインチキできるのではないか

答 今後は法令を守るよう指導する

**竹原** 立会人が保管すべき鍵を職員が保管したり、開票立会人なしに職員が投票立会人から鍵を受け取っている他、(期日前など) インチキしようとするれば出来る状況がある。この状況について説明を求めます。

**選管事務局長** 法令どおり実施していない事例等もあったので守るよう指導する。県の指導の他、投票管理実務提要などに従っている。問題があれば県と協議する。

## 市民交流センターについて

**竹原** 交流センター計画の経費は？  
**教育総務課長** 総額37億2千万円、維持費は年間4千万円程度になる。

## 阿久根駅維持費について

**竹原** 阿久根駅5月の運営経費は？  
**商工観光課長** 施設管理に86万9千円その他、収益部門の人件費、仕入れ等に155万3千円であった。

## 市営住宅の管理について

**竹原** 市営住宅の管理責任と水洗化の取り組みを問う。  
**都市建設課長** 阿久根市に住環境整

備の責任がある。今後も改善に取り込む。トイレの水洗化も推進する。

## イノシカ捕獲補助金について

**竹原** イノシカ肉流通対策事業の費用および成果を問う。  
**水産林務課長** 1280頭を処理

し、3422万2千円を補助金支出した。一頭あたり、2万6千735円になる。

## 指定ゴミ袋について

**竹原** 水俣市には指定ごみ袋はない。最後はごみになる指定ごみ袋の総重量と経費を問う。  
**市民環境課長** 平成26年度 指定ごみ袋の総重量は約28トン。購入の費用は851万6千円である。



竹原 信一 議員

## 問 市会議員選挙で特定の新人候補の応援をした真意は

答 市長の思いを共に進めていってくれる人として応援した



山田 勝 議員

**山田** 市長が誰の選挙運動をしようが公職選挙法には触れず、前期の4年間には、市長が提案した二つの重要議案を否決した議会であり、信頼の置ける議員を作りたい気持ちは分かるが、市民から何回か抗議の電話があった。市長の真意を訪ねたい。

**市長** 市長の思いを共に進めていってくれる人を市民として応援した。

**山田** 二議案が否決された事は情報収集など議会対策が甘かったのではないか、副市長に尋ねる。

**副市長** 情報を収集し今後しっかりと取り組みたい。

## 笠山観光農園のオープンセレモニー結果について

**山田** 笠山観光農園のオープンセレ

モニーの結果と今後の問題点を尋ねる。

**市長** 市内外から予想を超える約800人の客が訪れて大盛況であった。阿久根駅からのマイクロバスも満車で2台に増やしピストン輸送をした。今後の問題点として、案内板の設置、安全な通行については前向きに取り組みたい。

**山田** 阿久根市には多くの観光資源があるが利用されてない。発掘し提案したら積極的に取り組む気持ちはあるか。

**市長** 勉強して取り組みたい。



笠山観光農園オープンセレモニーの様子

## 問

計画中の新焼却処理施設で焼却するだけの「ごみ焼却施設」建設には交付金は出ないのか

## 答

有利な循環型社会形成推進交付金を利用するのでエネルギーを回収する設備を附帯しないものには出ない

**【中面】** 現在計画中の新焼却処理施設の建設に当たり、阿久根市では燃えるごみの40%を占める生ごみの堆肥化事業を進め、ごみの減量化に取り組み、今後人口減少も進む中、できるだけ市民の負担を軽減するため、時代の流れに沿った現有施設より規模縮小のただ燃やすだけの焼却施設が良いと思うが、この方式には国からの交付金は出ないのか。

**【市長】** 有利な循環型社会形成推進交付金を活用するため、エネルギー回収型廃棄物処理施設として、エネルギーを回収し発電設備を備え付けた処理施設でないと交付金は出ない。

**【中面】** 検討している新焼却処理施設の規模及び建設費と年間の維持管理費について説明を求める。

**【市長】** ごみ処理施設規模は1日当たり90トン（45トン×2炉）焼却炉は現有施設と同じ方式でエネルギーを回収した熱利用で発電を行い、自家利用と余剰分は売電を行う。

- 最終処分場規模
- 埋立面積 9 千平方メートル
- 埋立容量 4 万 2 千立方メートル
- 形式 オープン型最終処分場

施設整備費 総額 約92億円

・ごみ処理施設 約65億円

・最終処分場 約19億円

・造成費、用地取得他 約8億円

※阿久根市負担分 約18億円

※現有施設の解体費用は含まず

年間維持管理費 用役費・維持補修費・施設管理費・運転管理費合計

・現有施設 約2億7千8百万円

・新規（発電有）約2億7千4百万円

・新規（発電無）約3億5千9百万円

**【中面】** 最終処分場はオープン型であり、浸出水は農業用水として利用されている多田地区の河川に放流するようになっているが、健康に悪影響を及ぼす汚染の可能性はないのか。

**【市長】** 現有施設と同様な処理方式で法令に基づいて水質検査等も行っていくので、安心安全な処理水として放流されると思っている。



中面 幸人 議員

## 問

原子力災害避難訓練はすべての区で行う予定か

## 答

市全域で避難訓練を行うことは難しい



竹原 恵美 議員

**【竹原】** 避難先の地域に行きたいという市民からの要望に対応するのか。また各区で避難訓練を行い、避難計画の実効性を高める事を要望する。

**【市長】** 地域単位で避難訓練を行う要望があった場合、対応していきたい。

**【竹原】** にぎわい交流館阿久根駅について

**【竹原】** 駅のカフェで居酒屋の経営をすることをまだ考えているのか。それは市として適正か。赤字が出た場合、税金を追加投入する考えか。

**【市長】** 委託先の考えによるが、収益性を上げるためには夜の営業に力を入れていくことが大事だと考えている。税金の追加投入は考えていない。

**【竹原】** 市民交流センターについて

総事業費約37億2000万円

は、阿久根市の財政、将来の人口減、利用量を見越し、市にとって適切な規模であると確信して事業を進めているのか。

**【市長】** 市民ワークショップや建設委員会でも話し合い、計画してきた。財源の裏付けがあれば進めるべきだと考えているが、後世への負担を危惧しており、これから見直しを考えていかなければならない。

**【うみ・まち・にぎわい再生整備計画について】**

**【竹原】** 約21億円のこれら事業を進めていくのか。

**【市長】** 市民からの意見で聞いた市民の夢は何らかの形で残すべきで、委員の意見は尊重し、考えて計画したが、全てを実行するわけではない。

**【竹原】** 計画の立て方として意見のコントロール・意見を集約する力がリーダーとして必要で、実行には全体のバランスはないということか。

**【市長】** 厳しいご意見も聞きながら今まで進めてきた。

**【竹原】** 計画内容が決定しないうちに市民に説明会を開くことを要望する。

